事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		公共下水道計画事業				②事業番号		6316	
③事業類型		5. 普通建設事業		④開始年度		昭和 63 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		〇 法令		〇 条例		〇 規則		〇 要綱	
⑦実施手法		直営		〇 全部委託		〇 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款 2		項 1		目 1		細目 3	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		下水道課		会計 下水道事業特別会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 公共下水道施設	① 認可面積	ha
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
約5年に一度、下水道計画・事業計画変更協議を行い、告示及び広報等で公表を行う。平成26年度に信達牧野地区等、平成29年度に新家地区の事業計画を策定した。	① 整備面積	ha
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
下水道計画・事業計画変更を行い、公共下水道の整備を進める。	① 下水道普及率	%
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
整備区域を拡大し、公共下水道の普及率の向上を図る。	政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
	施策大(節) 2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	
	施策中 4 下水道整備の推進	
	施策小 1 下水道の整備	

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	認可面積	ha	826.30	826.30	826.30	826.30	826.30	
対象指標②								
活動指標①	整備面積	ha	656.09	659.12	661.73	661.98	683.10	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	下水道普及率	%	57.3	57.5	57.9	57.9	60.1	
成果指標②								—
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.85	0.90	0.50	0.50		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	6,891	6,941	3,816	3,816		H29年度に公共下水道認可変更委託を行った。
	直接事業費	千円	44,284	1,517	28,236	30,023		
	総事業費	千円	51,175	8,458	32,052	33,839		
財源内訳	国庫支出金	千円	20,943	0	10,500	12,500		H29年度に公共下水道認可変更委託を行った。
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	30,232	8,458	21,592	21,379		
一般財源	千円	0	0	△ 40	△ 40			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	公共下水道の整備に着手するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	平成29年度に策定した事業計画に基づき進めていく。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	事業認可取得毎に計画区域・人口の見直しを行っており、 現実に合った計画を行っている。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	本事業で計画・認可策定した事業は、整備事業に移行して いく。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	事業認可取得毎に計画区域・人口の見直しを行っており、 現実に合った計画を行っている。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、 それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	類似事業はない。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	計画及び認可等の策定業務のため見直しは出来ない。
--	----------------	--------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア</p> <p>ア. 現状のまま継続</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ウ. 終了</p> <p>↓</p> <p>(___ 年まで)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エ. 休止</p> <p>↓</p> <p>(___ 年から)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>オ. 廃止</p> <p>↓</p> <p>(___ 年から)</p> </div> </div>	
<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—